

2016年10月17日

関係各位

野村アグリプランニング&amp;アドバイザリー株式会社

## 農林漁業を成長産業へ導く「6次産業化2.0」の提唱について

野村アグリプランニング&アドバイザリー株式会社(取締役社長:西澤隆)は、農林漁業を成長産業へ導く「6次産業化2.0」を提唱する論文を、野村証券金融経済研究所および野村資本市場研究所発行の経済レポート「財界観測」\*上で発表しました。

六次産業化・地産地消法が施行されて5年が経ちましたが、農林漁業者が単独で6次産業化に取り組んでも農林漁業の衰退に歯止めをかけるには至っていません。

本稿では、農山漁村を活性化し農林漁業を成長産業へ導くために、農林漁業者と2次・3次事業者との融合により、1次から3次までの境界をなくした一気通貫型のビジネスモデルを構築することで、産地と産業の振興を目指す新しい6次産業化の形態「6次産業化2.0」を提唱し、その要諦と拡大のための施策について論じています。

本稿は下記URLでご覧になれます。

<http://www.nomuraholdings.com/jp/company/group/napa/data/20161017.pdf>

当社は今後も、アグリビジネスを軸に、地域活性化を通じて日本経済の発展に貢献することを目指し、アグリビジネスの成長につながるソリューションを提供していきます。

\* 年4回(1月、4月、7月、10月)発行の、経済・産業、資産運用などに関するオピニオン論文や投資に役立つ各種統計を掲載した経済レポートです。定期購読については野村証券ホームページをご覧ください。

<https://www.nomura.co.jp/market/report/zaikai/>

以上